



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トラスト

コード番号 3347 URL <http://www.trust-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 誠英

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 長谷川 克彦

TEL 052-219-9058

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,283	28.1	150	△16.7	147	△13.0	57	△1.8
23年3月期第1四半期	1,782	—	181	—	169	—	58	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 78百万円 (△10.5%) 23年3月期第1四半期 88百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	220.48	—
23年3月期第1四半期	224.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	12,168	3,821	28.5	13,418.77
23年3月期	12,425	3,759	27.7	13,312.06

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 3,472百万円 23年3月期 3,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	100.00	—	100.00	200.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	100.00	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,661	29.6	469	9.2	425	5.8	162	20.7	627.10
通期	9,722	25.2	1,033	24.8	942	21.8	331	28.3	1,282.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	281,500 株	23年3月期	281,500 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	22,731 株	23年3月期	22,731 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	258,769 株	23年3月期1Q	258,769 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であり、

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及び原発事故の影響により、幅広い業種において企業活動に大きな影響を受けたのみならず、個人消費におきましても自粛ムードの広がり等により、厳しい経営環境となりました。

このような状況のなか、当社グループは、子会社であるTRUST ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITED を、当第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含め、報告セグメントは、中古車輸出事業、レンタカー事業、海外自動車ディーラー事業の3事業となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高2,283百万円(前年同期比28.1%増)、営業利益150百万円(前年同期比16.7%減)、経常利益147百万円(前年同期比13.0%減)、四半期純利益57百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 中古車輸出事業

中古車輸出業界全体では、海外における日本製中古車の需要は依然旺盛であります。東日本大震災の影響により自動車生産設備が被害を受け、新車販売が低迷し下取り車が減少したこと、さらには被災地域で中古車の需要が増加したことにより、仕入価格が高騰しております。また、世界各国で輸入品に対する放射能検査が強化されたことにより、輸出時の検査費用が増加したため収益を圧迫し、厳しい経営環境となりました。

このような状況のなか、当社グループでは、前期より競合他社に先駆けて開始した、主要輸出先であるアフリカ地域における沿岸国主要港から内陸国主要都市への中古車の陸送サービスを強化し、また新規ルートの開拓に注力したことにより、顧客満足度の向上が図られました。

当社グループの輸出台数は、アフリカ地域においては上記施策等により、オセアニア地域においては宣伝広告の強化により前年同期比で増加したものの、ヨーロッパ地域においては放射能への懸念から輸出台数が減少し、合計1,711台(前年同期比3.3%減)となりました。しかしながら、高額車輦販売の増加等により販売単価が上昇したため、売上高は前年同期比で増加となりましたが、仕入価格の高騰により利益率が低下いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,029百万円(前年同期比9.7%増)、営業利益32百万円(前年同期比32.0%減)となりました。

② レンタカー事業

レンタカー業界全体では、東日本大震災の影響により個人旅行の自粛が相次いだこと、また高速道路休日特別割引(上限1,000円)の廃止などにより、個人顧客の需要が減少いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、営業部門を強化し法人顧客及びF Cの新規開拓を行い、TVCMの放映を開始し個人顧客の獲得に努めました。また、空白地域における新規出店を推進し、直営店ではJネットレンタカー浜松駅前店、F C店の灘店を新規出店し、直営店及びF C店の総店舗数は82店、総保有台数は7,834台となりました。レンタル終了車輦販売につきましては、中古車販売店における国内販売と、中古車輸出事業を通じての海外販売の強化により、販売台数は165台(前年同期比8.8%減)となりましたが、オークション相場の高騰により販売単価が上昇し収益が拡大いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,141百万円(前年同期比26.4%増)、営業利益133百万円(前年同期比5.5%減)となりました。

③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国においては、ワールドカップ終了後も経済成長を続け、個人消費は好調で、自動車販売台数も高水準で推移しております。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国の首都プレトリア市においてプジョーディーラー1店舗、リゾート地であるケープタウン市近郊においてフィアット・アルファロメオディーラー1店舗を運営しております。プジョー新車販売台数14台、フィアット新車販売台数10台、アルファロメオ新車販売台数17台、中古車販売台数56台と順調に推移し、経営改善により収益率の向上に努めました。それぞれ開店1年目で未だ経営効率が悪く営業損失となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高183百万円、営業損失6百万円となりました。

※海外自動車ディーラー事業は、当第1四半期連結累計期間より連結対象としているため、前年同期との比較は行っておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.9%減少し、5,006百万円となりました。これは、現金及び預金が170百万円、リース債権及びリース投資資産が61百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、7,162百万円となりました。これは、リース資産(純額)が37百万円減少したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、12,168百万円となりました

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、6,234百万円となりました。これは、未払法人税等が181百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.7%減少し、2,112百万円となりました。これは、長期借入金が60百万円、リース債務が44百万円減少したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて1.6%増加し、3,821百万円となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ178百万円減少し、678百万円となりました。なお、当第1四半期連結会計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は413百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益149百万円、減価償却費367百万円及び売上債権の減少80百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は140百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出74百万円及び無形固定資産の取得による支出52百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は450百万円となりました。これは長期借入金の返済による支出60百万円及びリース債務の返済による支出316百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

中古車輸出事業につきましては、東日本大震災の影響により引き続き仕入価格の高騰が予想されますが、継続的に各国の現地エージェントとの新規提携を推進し、現地での陸送サービスの強化及びアフターサービスの充実を図り、売上の拡大及び利益率の向上に努めてまいります。

レンタカー事業につきましては、例年より早く梅雨明けとなり行楽シーズンが到来したものの、高速道路休日特別割引(上限1,000円)の廃止により、個人顧客需要の減少が見込まれますが、新規出店店舗の早期黒字化に注力し、また、平成23年7月において、F C店のJネットレンタカー佐賀店、諫早店、長崎大橋店、長崎宝町店を新規出店し、継続的に空白地域におけるF Cの新規開拓に注力することにより、直営・F C両面で全国展開を目指してまいります。

海外自動車ディーラー事業につきましては、既存店舗の収益改善、新規出店の模索により売上の拡大及び利益率の向上を図ってまいります。

なお、平成23年5月10日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。今後、何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	849,118	678,472
受取手形及び売掛金	622,963	569,253
リース債権及びリース投資資産	2,755,733	2,693,894
商品及び製品	503,431	598,404
仕掛品	—	152
原材料及び貯蔵品	12,512	12,517
その他	428,134	461,315
貸倒引当金	△16,672	△7,531
流動資産合計	5,155,222	5,006,479
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	2,767,684	2,730,516
土地	2,845,667	2,846,098
その他(純額)	899,546	857,117
有形固定資産合計	6,512,898	6,433,732
無形固定資産		
のれん	102,607	111,862
その他	121,419	123,245
無形固定資産合計	224,026	235,107
投資その他の資産		
その他	572,227	519,581
貸倒引当金	△39,325	△26,211
投資その他の資産合計	532,901	493,369
固定資産合計	7,269,827	7,162,208
資産合計	12,425,049	12,168,688
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,515	208,992
短期借入金	1,249,800	1,207,359
1年内返済予定の長期借入金	366,284	366,284
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	3,906,965	3,865,067
未払法人税等	222,925	41,424
賞与引当金	62,542	32,638
その他	499,844	482,702
流動負債合計	6,447,877	6,234,468
固定負債		
社債	110,000	110,000
長期借入金	367,060	306,489
リース債務	1,719,330	1,674,832
役員退職慰労引当金	3,070	3,406
資産除去債務	10,033	10,078
その他	8,158	8,184
固定負債合計	2,217,653	2,112,989
負債合計	8,665,531	8,347,457

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	1,533,172	1,564,350
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	3,438,763	3,469,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,987	3,165
為替換算調整勘定	—	△745
その他の包括利益累計額合計	5,987	2,420
少数株主持分	314,767	348,868
純資産合計	3,759,518	3,821,230
負債純資産合計	12,425,049	12,168,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,782,358	2,283,691
売上原価	1,117,201	1,574,064
売上総利益	665,157	709,627
販売費及び一般管理費	483,974	558,712
営業利益	181,182	150,914
営業外収益		
受取利息	3,318	743
受取配当金	1,855	1,939
為替差益	—	7,343
貸倒引当金戻入額	—	9,171
その他	10,985	3,137
営業外収益合計	16,159	22,335
営業外費用		
支払利息	15,099	22,002
為替差損	9,653	—
その他	3,117	3,723
営業外費用合計	27,870	25,726
経常利益	169,470	147,523
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,036	1,261
助成金収入	2,721	1,352
特別利益合計	3,758	2,613
特別損失		
固定資産売却損	—	214
固定資産除却損	5,495	—
貸倒引当金繰入額	3,936	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,736	—
その他	700	—
特別損失合計	14,869	214
税金等調整前四半期純利益	158,358	149,922
法人税、住民税及び事業税	61,504	40,500
法人税等調整額	4,360	26,826
法人税等合計	65,865	67,327
少数株主損益調整前四半期純利益	92,493	82,595
少数株主利益	34,387	25,539
四半期純利益	58,105	57,055

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	92,493	82,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,359	△2,796
為替換算調整勘定	—	△917
その他の包括利益合計	△4,359	△3,713
四半期包括利益	88,133	78,881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,743	53,488
少数株主に係る四半期包括利益	34,390	25,392

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	158,358	149,922
減価償却費	198,838	367,970
のれん償却額	1,386	1,504
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,629	△10,433
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,267	△29,903
受取利息及び受取配当金	△5,173	△2,682
支払利息	15,099	22,002
為替差損益 (△は益)	9,113	958
固定資産売却損益 (△は益)	—	214
固定資産除却損	5,495	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,736	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△35,719	80,910
たな卸資産の増減額 (△は増加)	48,390	△22,221
仕入債務の増減額 (△は減少)	△37,605	22,125
未払消費税等の増減額 (△は減少)	7,055	32,476
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	19,492	△41,335
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	53,729	97,633
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	11,365	△7,078
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	295	—
その他	7,163	379
小計	450,386	662,444
利息及び配当金の受取額	5,991	3,569
利息の支払額	△14,044	△21,647
法人税等の支払額	△144,251	△230,634
営業活動によるキャッシュ・フロー	298,081	413,731
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△69,194	△74,840
有形固定資産の売却による収入	3,805	286
無形固定資産の取得による支出	△2,670	△52,168
貸付けによる支出	△174,194	△16,262
貸付金の回収による収入	177,105	3,717
敷金及び保証金の差入による支出	△2,231	△1,540
敷金及び保証金の回収による収入	2,748	1,358
その他	△8	△753
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,638	△140,204
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	9,999	△51,050
長期借入金の返済による支出	△28,500	△60,571
配当金の支払額	△45,104	△22,783
リース債務の返済による支出	△163,459	△316,204
財務活動によるキャッシュ・フロー	△227,064	△450,609
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,107	△1,057
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,728	△178,141
現金及び現金同等物の期首残高	960,339	849,118
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	7,495
現金及び現金同等物の四半期末残高	957,610	678,472

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	930,957	851,401	1,782,358	—	1,782,358
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,661	51,736	59,397	△59,397	—
計	938,618	903,138	1,841,756	△59,397	1,782,358
セグメント利益	47,153	141,494	188,648	△7,466	181,182

(注) 1. セグメント利益の調整額△7,466千円には、のれん償却額△1,386千円、棚卸資産の調整額△6,079千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業(注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	1,021,885	1,078,302	183,503	2,283,691	—	2,283,691
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,101	63,350	—	71,451	△71,451	—
計	1,029,986	1,141,652	183,503	2,355,142	△71,451	2,283,691
セグメント利益又は損失(△)	32,082	133,726	△6,452	159,355	△8,441	150,914

(注) 1. 当第1四半期連結累計期間より、子会社であるTRUST ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDを新たに連結の範囲に含めたため、海外自動車ディーラー事業が追加となりました。

2. セグメント利益又は損失の調整額△8,441千円には、のれん償却額△1,504千円、棚卸資産の調整額△6,936千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結累計期間より、子会社であるTRUST ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDを新たに連結の範囲に含めたため、海外自動車ディーラー事業が追加となりました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、9,908千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (7) 重要な後発事象
該当事項はありません。